

①事業の取組方針

『小林スマートウェルネスシティ』を目指す健幸のまちづくり拠点施設づくり

本事業への理解

本事業は、緑豊かな小林市総合運動公園内に「市民の誰もがいつでも気軽に訪れ、スポーツ・健康づくり・子育てを行うことができる拠点施設」を整備することで、健幸のまち『小林スマートウェルネスシティ』の実現に大きく寄与するプロジェクトであると捉え、将来に渡って愛される施設づくりに向けてチーム一丸となって取り組みます。

本プロジェクトで大切にしたいポイント

- ① 公園内の複合体育館
- ② DX の推進
- ③ 災害に強い防災拠点
- ④ 持続可能な施設

運動公園内という立地を活かし、誰もが利用しやすく、「スポーツ」「健康づくり」「子育て支援」が連携する『縮充』の複合型体育館づくり

広く健康意識や運動意欲を拡散できる情報発信設備。予約システム等による施設利用の利便性向上。安心して子育てができる見守りの環境づくり

小林市最大の指定避難所かつ救助活動拠点として、「いつも」は市民に開かれ、「もしも」の際に市民を守る、頼りになるフェースフリーな施設づくり

小林市の気候・風土を活かしたライフサイクルコストの削減やCO2算出の削減、地場産材の活用により、未来へつなぐ施設づくり

取組意欲・実施方針

デザインビルドの利点を活かし確実にプロジェクトを推進

1 | 「対話」による丁寧な聞き取り



- ・実施設計から施工にかけて丁寧な聞き取りを行い、比較検討型の提案にて円滑に事業を推進します。

2 | 施工技術の反映



- ・実施設計段階から、施工・地元チームによる納まりの検討を行い、施工技術を設計に反映します。

3 | 段階的なコスト算出

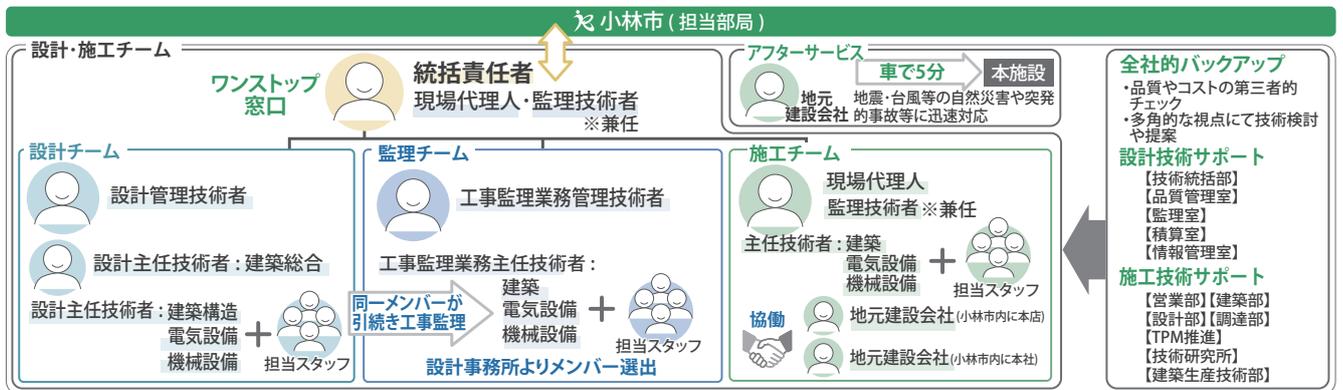


- ・実施設計の進捗に合わせて、段階的に精度を高めたコストを算出することで、コスト管理します。

一体的に機能する実施体制

設計から施工、アフターサービスまで一貫したチーム体制

- ・膨大な施工データベースをもつ「大手建設会社」、意匠・構造・設備計画を総合的に提案可能な「組織設計事務所」、小林市を熟知する「地元建設会社」による万全のチーム体制で臨みます。



①豊富な実績と確かな技術力を発揮

- ・スポーツ施設や子育て支援施設の設計・施工実績の豊富なメンバーを中心にチーム編成し、確かな技術力でプロジェクトを牽引します。

②統括責任者によるワンストップ窓口

- ・関係者のみなさまからの要望や問合せは、実施設計着手時から統括責任者(現場代理人を兼任)が窓口となり、プロジェクトメンバーに共有します。

③統括責任者を中心とした ONE TEAM

- ・統括責任者の指示のもと、設計・監理の管理技術者及び施工の現場代理人が意匠・構造・設備それぞれの専門分野や別途工事との調整にあたります。

④コアメンバーの固定

- ・設計・施工・地元チームそれぞれから、各会議や打合に参加するコアメンバーを選定し、要望や意図をチーム全体で確実に情報共有します。

⑤情報の一元管理と最新情報の共有

- ・本プロジェクト専用のサーバーを設け、データを一元管理することで、チーム内及び関係者のみなさまと最新の情報を共有します。

⑥全社技術サポートによる協力体制

- ・豊富なデータベースの照会やデザイン検討、連絡網による情報収集、専門部署によるバックアップ等、全社技術サポートにより最良の建物を追及します。

⑦設計チームが引き続き監理チームへ移行

- ・同種施設実績の豊富な監理業務管理技術者を加え、設計チームが引き続き工事監理を行うことにより、設計意図をもれなく施工に反映します。

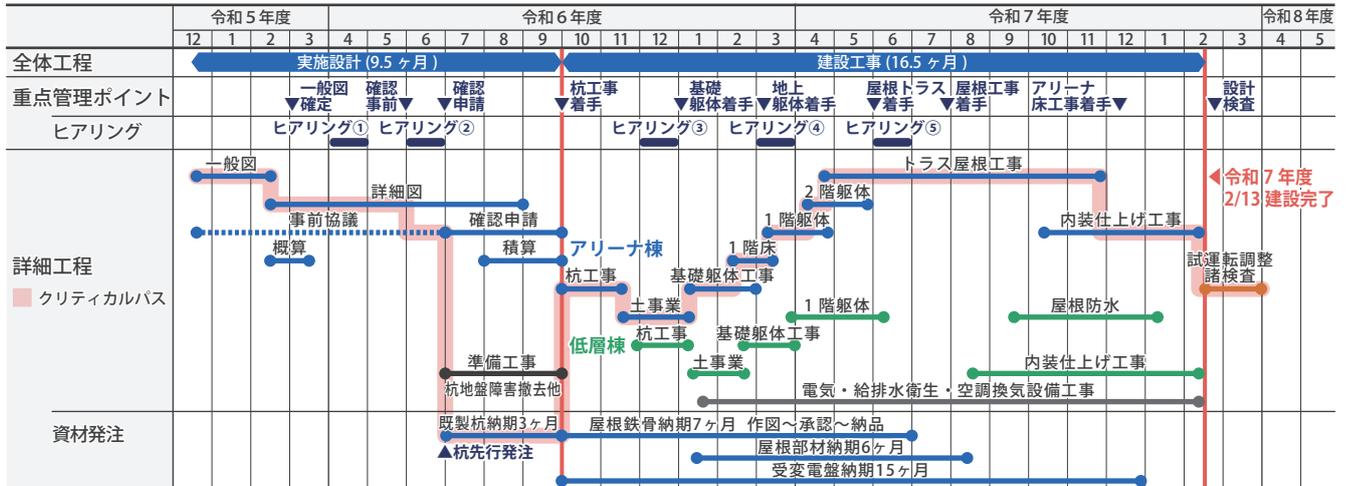
⑧安心のアフターサービス

- ・地震や台風等の自然災害発生時は、小林市内に本店、本社を構える地元建設会社が駆けつけスピーディな対応を行います。

②品質・工程管理

皆さまの要求を確実に反映し、工程管理とコスト管理を徹底します

進捗管理・工程管理



課題を「見える化」しクリティカルパスを厳守

- クリティカルパス(プロジェクトを進める上で最も時間を要する工程経路)を明確にした上で、節目となるマイルストーン(中間目標)を設定し、関係者のみなさまと共有します。
- 設計から施工に至る膨大な検討項目を「課題管理シート」に集約・一元管理し、「いつまでに・誰が・何を検討するか」を明記することで、目標スケジュールと進捗を見える化します。関係者のみなさまへの確認事項について検討期間を明確にします。
- 早期に行政や各審査期間との事前協議に着手し、条件の整理を行うことで手戻りなく業務を推進します。

No.	検討内容	起案	期限	検討者	経緯・方針	経緯を記録	済
12	カウンターの高さ配線等の仕様	9/15	10/15	●	●	車いす対応カウンターの設置 電源・TEL・LAN 配線穴の数確認	
13	チャイルドシート必要数	9/15	10/15	○	●	男女 WC3 箇所ずつ	済
14	便器の仕様	9/22	10/22	○	●	壁掛け式もしくは床置き式	済

課題管理シート例

市場動向を押さえた発注

- 主要工種(鉄骨工事、設備工事)について専門業者と協議の上、コスト・納期を事前に確認します。
- 市場動向を踏まえて納期を確実に把握し、工期内の竣工を図ります。

会議体

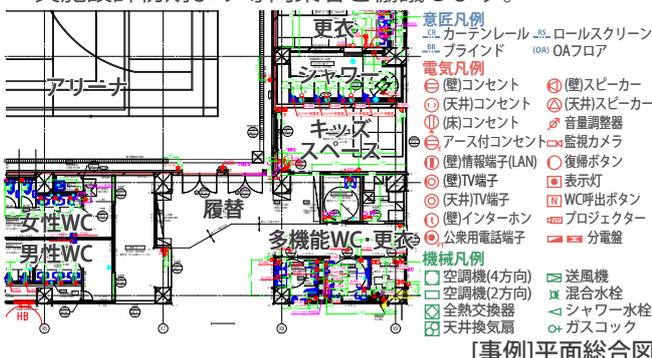
- 基本設計時の積み残し事項を確認の上、協議します。
- 大きな方針を協議する「総合定例」、個別に詳細検討を行う「分科会」により、要求の把握と反映、スムーズな合意形成及び課題解決を図ります。設計・施工チームはすべての会議に参加します。
- 別途工事との調整・すり合わせを行う「調整会議」を開催し、プロジェクト全体を牽引します。



品質の確保

設計への施工技術反映

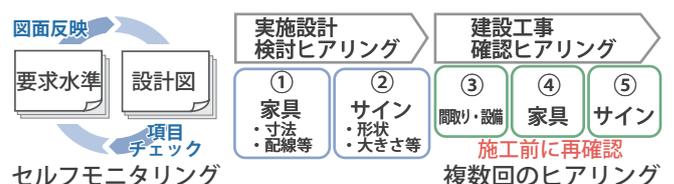
- 実施設計期間にて、一般図・矩計図完成時、設備配管図完成時及び実施設計調整期間に施工・地元チームによる施工チェックを実施することで、施工面における課題を明確にし、設計図にフィードバックします。
- 実施設計期間にて、家具や備品、照明、電源、空調機器等の設備の位置を示した総合図を作成します。
- 屋根の架構やライフラインの供給、DX事業について、実施設計初期より専門業者と協議します。



[事例]平面総合図

セルフモニタリング及びヒアリングの実施

- 実施設計完了時に要求水準の反映についてセルフモニタリングを実施し、貴市に報告・説明を行います。
- 実施設計にて使い勝手や仕様の「検討ヒアリング」、施工時に修正・変更の最終確認をする「確認ヒアリング」を行うことで、要望を確実に工事に反映します。
- 打合資料を画面上に映し出し、打合内容や変更点をその場で書き込み、リアルタイムに情報共有します。



建設中の品質確保

- 施工図は、施工チームによる自主チェック及び監理チームにより設計図書との照合を行います。
- 建設中及び各検査にて、工事業者及び施工チームによるチェック、その結果と対応策の共有、監理チームによる抜き取りチェックにて品質を確保します。

①誰もが日常的に利用しやすい複合拠点施設としての施設計画

小林市総合運動公園の各施設をつなぎ、ストック効果を向上する施設づくり

既設公園施設も含めた提案



小林市総合運動公園全体の利用促進

- はじめての利用者にもわかりやすい案内として、県道からの入口に小林市総合運動公園入口の案内標識の設置を提案します。
- 公園全体のマップサインを計画し、複合施設の整備により公園全体の相互的な利用促進を図ります。
- 既存の歩道橋に接続する歩道を計画し、車道を横断せずに各公園施設へアクセス可能な周回コースを整備します。



わかりやすい案内と歩車分離の徹底

- 公園のメイン通路である市道1075号線に面して、メイン出入口及び一般駐車場を整備し、誘導サインにて案内します。
- 敷地拡張スペースの駐車場へは、メイン出入口から南へ伸びる敷地内通路より案内しやすい計画とします。
- 歩車分離を徹底の上、歩道はカラーアスファルト、クロスカントリーコースは芝を張り、車道と色分けすることで視覚的に安全性を高めます。



公園内の屋内休憩所

- 健幸ストリート(ホワイエ)は、公園施設の広がる北側に面してガラス張りの開放的な作りとし、公園利用者が気軽に利用しやすい計画とします。
- 健幸ストリートに面するWCは、混雑を防止するため通り抜けが可能な計画とし、個室にフィッティングボードを設けることで、公園利用者の簡易的な更衣スペースとしても機能します。



「スポーツ」「健康・子育て」の明確なエリア分け

- 既存テニスコートと体育館の「スポーツゾーン」、多目的室や子育て支援センターのある「健康・子育て支援ゾーン」を明確に分け、それぞれに玄関を設けることで利便性に配慮します。
- スポーツゾーン側に臨時バス駐車場を設けることで、大会時運用のしやすい計画とします。
- 健康・子育て支援ゾーン側には、車道を横断せずにアクセス可能な駐車スペースを設け、安全性を確保します。

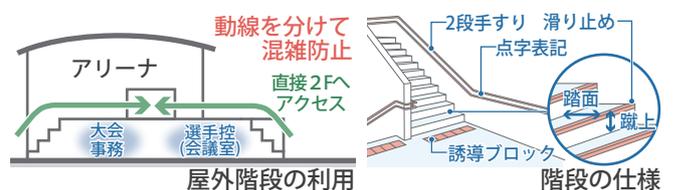


利用状況に合わせたセキュリティ計画

- 健康・子育てエリア、スポーツエリアの土日運用の違いに配慮し、シャッターや扉にてセキュリティラインを設定可能な計画とします。
- 埋め込み式のポールを各所に計画し、利用状況に応じて駐車エリアの制限が可能な計画とします。

大会やイベント利用に有効な屋外階段

- 屋外階段は、大会やイベント時の大人数の利用や避難時を考慮し十分な幅を確保します。
- 上りやすい蹴上・踏面寸法とし、手すりや滑り止めを設けることで、誰もが利用しやすい仕様とします。



多目的室を拠点に健診センターを創出

- 検診車を横付け可能な車寄せに高さ4m以上の庇を設け、雨天時も雨に濡れずに利用可能な計画とします。
- 多目的室と交流スペース間は、フルオープンできる建具仕様とし、一体的に利用可能な計画とします。



①誰もが日常的に利用しやすい複合拠点施設としての施設計画

豊かな緑の丘に映える『てなむルーフ』、機能性に優れた温かみある内部計画

外観や外部仕上を含む計画



小林市の新たなシンボル「てなむルーフ」

- トラス構造にて山並みをイメージしたおおらかな大屋根「てなむルーフ」は運動公園や小林市の新たなシンボルとなります。
- 屋根は、カラーガルバニウム鋼板嵌合立平葺きを採用します。



[事例]トラス構造 ガルバニウム鋼板嵌合立平葺き

公園とつながる「あすぼやテラス」「あすぼや広場」

- 霧島連山を臨む「あすぼやテラス」は、2つの屋外階段にて運動公園や「あすぼや広場」とつながり、外の風を感じながら軽運動ができる憩いの場となります。
- テラス及びバルコニーの床は、滑りにくい外部用床シート貼りとし、防汚性及びメンテナンス性の高い仕様とします。



霧島連山



テラス床イメージ

内観や内部仕上を含む計画



健康ストリート(ホワイエ)



アリーナイメージ

木質化により温かみある内部計画

- 誰もが親しみのある施設として、温かみのある宮崎県産の天然木化粧板を共用廊下の壁面等に採用・検討します。汚れ防止や耐久性向上のため、木材表面はオイルステイン+ウレタンクリア塗装を採用します。



[事例]地域木材採用

土足エリア・土足禁止エリアを明確に区分

- 健康ストリート(ホワイエ)や共用廊下は、土足エリアとし公園利用者が気軽に立ち寄りやすい計画とします。床材には、耐水性があり清掃等のメンテナンス性の良いビニル床シートを採用します。
- 土足禁止エリアの入口には、十分な履替スペースを設け、床材の色分け及び床面サインを計画することにより視覚的に履替を促します。



[事例]履替スペース

各室の用途に特化した内装仕上げ

- アリーナや多目的室の床は、あらゆる競技にて国際大会公認されているスポーツ用長尺弾性シート(鋼製床組)を採用します。
- 子育て支援センターは、子どもの転倒時の安全性を考慮し、床にはクッション性ビニル床シートを採用します。

室名	床	壁	天井	土足	その他
【共用部】					
健康ストリート	ビニル床シート	天然木化粧板t15	岩綿吸音板(3,000)	○	
WC	ビニル床シート	化粧ケイカル板	ケイカル板+EP-G(2,700)	○	巻上巾木
【体育館】					
アリーナ	鋼製床組H=900 スポーツ用長尺弾性シート	EP-G	複合野地板(ガラスウールボード)(トラス下端13,500)	×	
観覧席	ビニル床シート	—	—	×	
ランニングコース	スポーツ長尺弾性シート	EP-G	岩綿吸音板(3,200)	×	
多目的室	鋼製床組 スポーツ長尺弾性シート	EP-G	岩綿吸音板(3,500)	×	
更衣室	ビニル床シート	ケイカル板+EP-G	吸音石膏ボード(2,700)	×	巻上巾木
会議室	ビニル床シート	ビニルクロス	岩綿吸音板(2,700)	○	
【健康・子育て】					
子育て支援センター	ビニル床シート (クッション)	ビニルクロス	岩綿吸音板(2,700)	×	
調理実習	ビニル床シート	化粧ケイカル板	ケイカル板+EP-G(2,700)	×	巻上巾木
事務所	OAフロア タイルカーベット	ビニルクロス	岩綿吸音板(2,700)	○	

内部仕上(案)

②ユニバーサルデザイン

多様な利用者の視点を大切にした、誰もが利用しやすく親しみやすい施設づくり

ユニバーサルデザインに配慮した具体的な提案

■ 駐車場から安全に玄関までアクセス

- 歩道の勾配は 1/20 以下とし、粗面ですべりにくく、水はけの良いカラーアスファルトを採用します。
- おもいやり駐車場は視覚的にわかりやすくサイン表記し、雨に濡れずに乗降可能な庇を設けます。また、介助が必要な方に対して、おもいやり駐車場や玄関にはインターホンを設置します。



[事例]おもいやり駐車場表記 [事例]雨に濡れずに乗降

■ 施設内オールフラット

- 施設内をオールフラットとするため、構造の床下げ高さや範囲について詳細検討します。
- エレベーターは車いす対応とし、専用の押しボタンや、車いすが 360 度回転可能な広さを確保します。

■ さまざまな利用者へのきめ細やかな配慮

- 車いす観覧席は、前列が立ち上がっても視線をさえぎらないようサイトラインを確保します。
- カウンターや洗面・手洗、履替スペース等、車いす利用者や子どもにも利用しやすい高さや広さとしします。
- 子育て支援センターから、屋内あそび場やあすばや広場への見通しを確保します。



[事例]車いす観覧席 [事例]カウンター

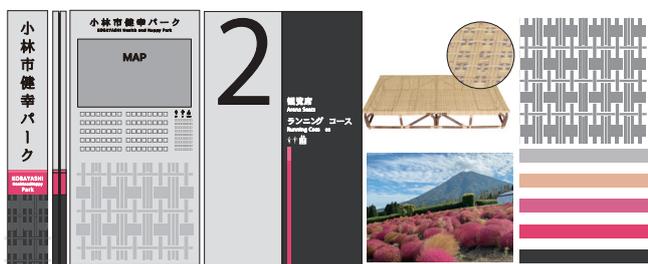
親しみやすく認知しやすいサイン計画

■ 建物全体で一貫したサイン提案

- サインは、「情報の発信」と「場所と施設の演出」の 2 つの機能を持ちます。サインのカタチや色、大きさと合わせて、壁の色や仕上げ等、建物全体で一貫したサイン計画を提案します。

■ 小林らしさあふれる親しみやすいサイン計画

- フォントは、小林市の名勝霧島連山や三之宮峡の檜の轟などの優雅さや力強さ、凛とした美しさを兼ね備えたフォントを選定します。
- 小林市の伝統工芸品である「籐」、籐編みの市松くずしをサインモチーフにします。
- 生駒高原に生い茂る「コキア」の夏から秋にかけて変化するグラデーション色と、霧島連山の深い墨色を組み合わせた色彩を採用します。



サインイメージ 小林の「籐」や「コキア」

■ 利用者に寄り添ったトイレ (WC) 計画

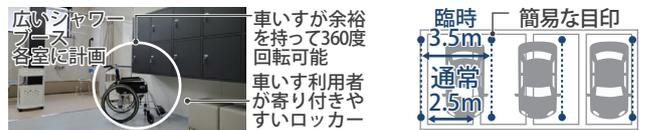
- スポーツ、健康・子育てゾーンごとに利用目的に特化した WC を分散して計画します。
- スポーツゾーンの WC には、個室内で更衣が可能なフィッティングボードを設置します。
- 健康・子育てゾーンの WC は、子ども便器やベビーシートのある親子で利用可能な設えとします。また、健診利用に配慮し、診察室に近接して採尿ボックスのある WC を計画します。
- 健幸ストリートに面して、介助のしやすい大型ベッド及びオストメイトを備えた WC を計画します。



スポーツゾーンWC 子育てゾーンWC 共用WC

■ パラスポーツ、アスリートに対応

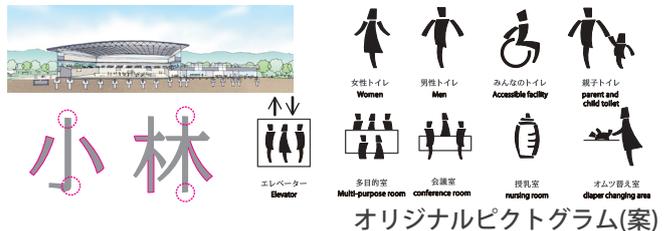
- 車いすバスケットやパラ競技利用者に配慮し、各室の出入口の有効幅を 900mm 以上確保します。
- 更衣室内には、車いすが 360 度回転可能であり、介助者も入れる広いシャワー室を計画します。また、車いす利用者が寄り付きやすいロッカーの仕様とします。
- パラスポーツ大会を考慮した可変駐車場を提案します。簡易な目印により臨時的に駐車場マスを 3.5m 幅に変更可能です。



車いす利用者に配慮した更衣室 駐車場マス

■ 本施設のオリジナルピクトグラム

- ピクトグラムは「てなむろーフ」をモチーフにした動きのある本施設オリジナルを提案します。室の用途に合わせて色付けしよりわかりやすい案内表記とします。



オリジナルピクトグラム(案)

■ 誰もが認知しやすいサイン計画

- 様々な利用者の視認性に配慮し、壁面と床面のサインを併用の上、認識しやすい大きさ、明度差に配慮した色使いとすることで、誰もがひと目で先行のわかるサイン計画とします。
- 視覚障がい者や高齢者、子ども、外国人等に配慮し、音声誘導装置や誘導ブロック、多言語表記、五感に訴えるピクトグラムを採用します。



壁面と床面のサイン併用事例 さまざまな利用者の視認性

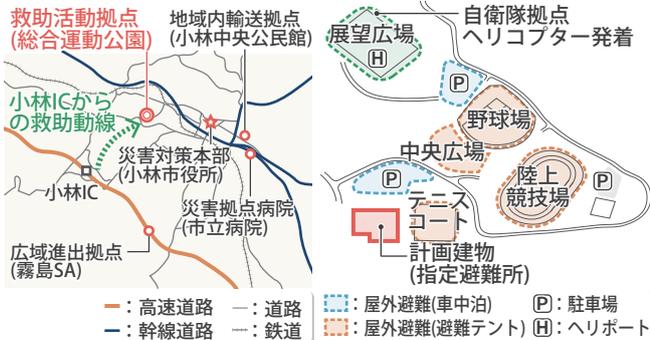
③災害対策

「いつも」の備えが「もしも」に役立つフェーズフリーな施設づくり

広域的な災害対応・救助活動拠点として災害に強い構造計画・設備計画

■小林市最大の指定避難所+救助活動拠点

- ・高速道路に近く、周辺の主要防災拠点と連携して対応できる小林市最大の指定避難所+救助活動拠点として転用できる防災計画とします。



救助活動拠点

■災害に強い構造計画

- ・極めて稀に発生する大地震に対して、一般建物の1.25倍の耐震性能(耐震安全性Ⅱ類)を確保し、構造体を大きく補修することなく建築物を使用できる構造計画とします。

耐震性能	I類	Ⅱ類	Ⅲ類
重要度係数	1.50	1.25	1.00
用途	庁舎等	避難施設等	一般建物

高 構造体の安全性 低
耐震安全性Ⅱ類

■災害に強い設備計画

- ・災害発生によるインフラの途絶や被害の長期化に備え、災害時バックアップシステムを構築します。
- ・非常用発電機により防災・保安電源のバックアップを行います。発電機燃料は軽油とし、72時間の連続運転が可能な蓄積量を確保の上、燃料補給することで発電機による電力供給が継続可能な計画とします。
- ・運動公園内の既存給水配水管の分岐をメインの水源として利用し、別水源である給水本管からバックアップとして引き込みます。給水経路を2系統設けることで、ライフラインの二重化を図ります。
- ・ライフラインに係る重要な設備機器には、防振架台を設けます。

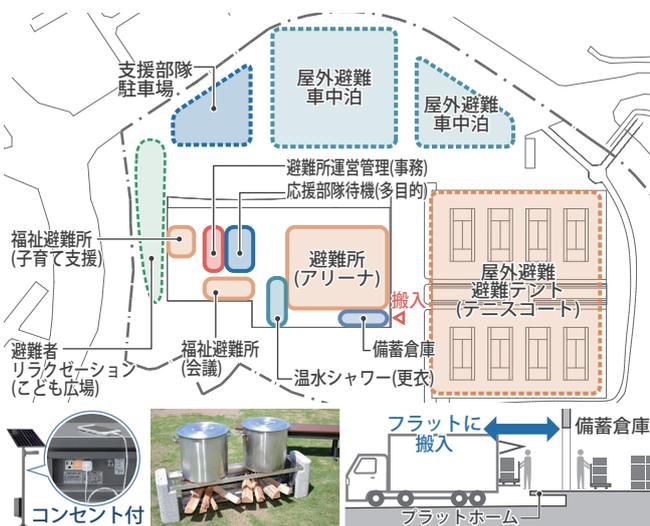


平常時から災害時への活用や利用転換

「いつも」の備えが「もしも」に役立つフェーズフリーな施設づくりを提案します。

■敷地全体を活用したフェーズフリーの防災対策

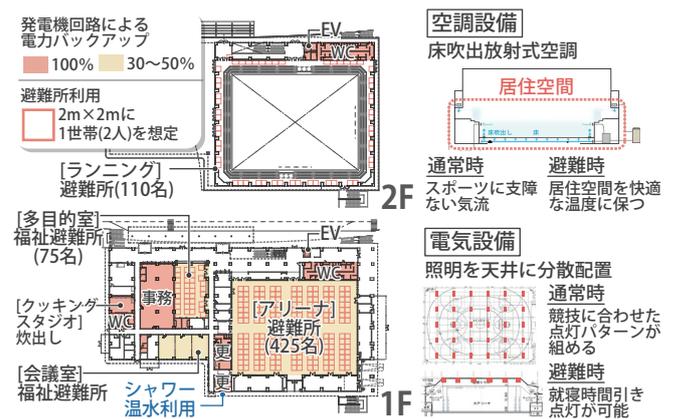
- ・駐車場の各所にコンセント付ソーラー外灯を計画し、夜間の照度を確保します。災害時、駐車場は車中泊用、テニスコートはテント用の屋外避難スペースとして活用し、外灯を携帯電話等の充電に利用します。
- ・災害時、駐車場の北西部分は支援部隊の駐車場として利用し車路にて明確にエリア分けします。
- ・クッキングスタジオに面した「あすぼや広場」や歩道に沿って炊出しに有効なかまどベンチを計画します。
- ・通常時、アリーナへの器具搬入等に利用するプラットフォームは、トラックの寄付きが可能であり、災害時には物資が搬入しやすい計画とします。



救助活動拠点・避難所への転用

■施設内の災害時転用と設備計画

- ・住民の避難スペースとして、大規模災害時はアリーナ、予備としてランニングコース、中規模災害時は多目的室を利用する計画とします。
- ・会議室は福祉避難所として乳幼児や子ども、高齢者、障がい者等の避難スペースとして利用します。
- ・災害時に使用する諸室の空調は発電機回路とし、用途に応じて電力供給を行います。
- ・シャワー室は非常時にも温水利用可能とします。
- ・アリーナの照明は、通常時コートの分割に合わせて点滅の細分化及び調光制御が可能な計画とし、避難時の生活環境に合わせた照明運用に活かします。
- ・アリーナの空調は、床吹出と同時に床面を冷暖房する床吹出放射式空調を採用し、通常時のスポーツ利用と避難時の居住空間を快適な温度に保ちます。



施設内の災害時転用

④環境配慮

環境にやさしく、未来の子どもたちへつなぐ『サステナブルアリーナ』

維持管理や将来更新が容易な施設計画

■メンテナンスのしやすい長寿命建物

大空間のメンテナンスに配慮

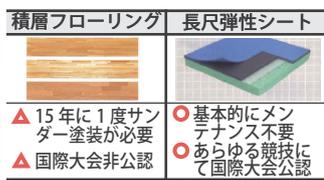
- アリーナの高天井部分にはキャットウォークを設け、天井設備等のメンテナンスに配慮した計画とします。
- アリーナの床材は、メンテナンス性、性能ともに優れたスポーツ用長尺弾性シート(国際認定)を採用します。
- アリーナは鋼製床組とし、床吹出放射式空調の機器メンテナンスに配慮します。

全周メンテナンスバルコニーの設置

- 建物には全周メンテナンスバルコニーを設置し、外壁や窓の清掃・修繕のしやすい計画とします。



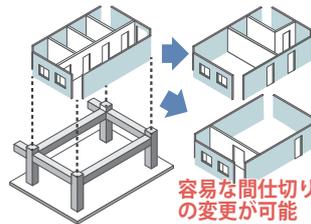
キャットウォーク



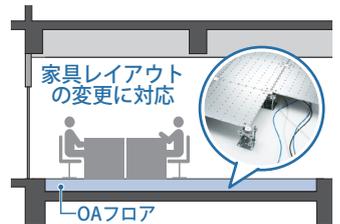
アリーナ床材の比較検討

■将来の更新や改修工事に対応

- 内壁は乾式間仕切りによるスケルトン・インフィル工法とし、将来的な改修工事が容易な計画とします。
- 事務所やファミリーサポートセンターはOAフロアとし、家具のレイアウト変更等に配慮します。
- 受変電設備、非常用発電機設備を地上へ設置することで更新時の据付が容易に可能な計画とします。
- メンテナンスや機器の更新に配慮しWCやシャワー、キッチンスタジオ等の水廻りを集約配置し、地下ピットを設けます。

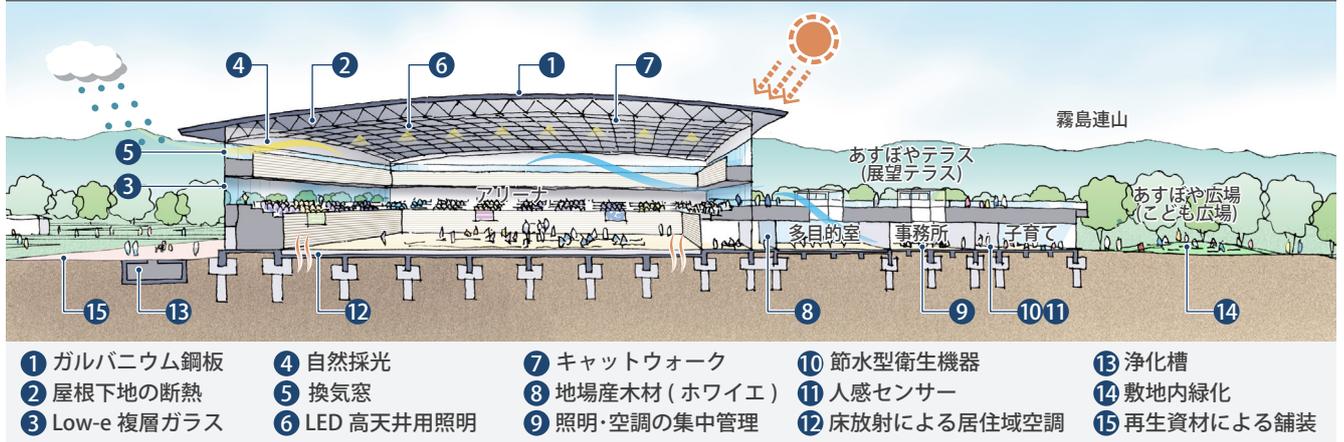


スケルトン・インフィル



OAフロア

ライフサイクルコスト低減・省エネルギー・木材利用の推進などの環境配慮

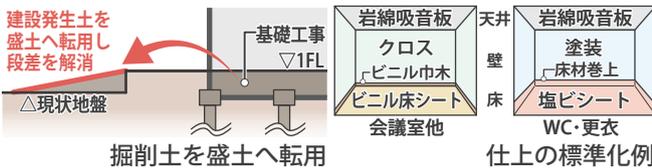


- 1 ガルバニウム鋼板
- 2 屋根下地の断熱
- 3 Low-e 複層ガラス
- 4 自然採光
- 5 換気窓
- 6 LED 高天井用照明
- 7 キャットウォーク
- 8 地場産木材(ホワイエ)
- 9 照明・空調の集中管理
- 10 節水型衛生機器
- 11 人感センサー
- 12 床放射による居住域空調
- 13 浄化槽
- 14 敷地内緑化
- 15 再生資材による舗装

■小林市や敷地の気候・風土を活かしたエコ建物

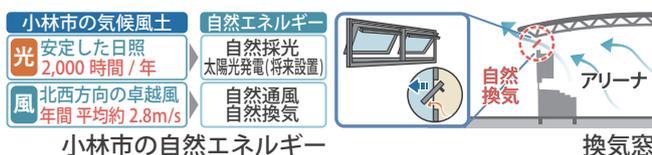
徹底的に無駄を削減

- 基礎工事による掘削土を盛土に活用することで場外搬出土を削減します。
- 外部サッシや内部建具、各室の仕上材等を標準化することでコスト削減を図ります。



自然エネルギーの活用

- 安定した日照時間を活かし、自然採光を積極的に室内へ取り入れます。将来的に太陽光発電設備の設置及び電気設備機器との連携が可能な計画とします。
- アリーナ上部に換気窓を設けます。

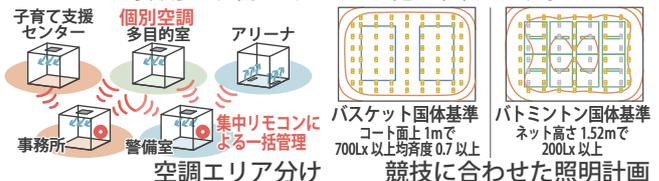


小林市の自然エネルギー

■ランニングコスト削減

利用状況に合わせた設備計画

- 費用対効果の高い設備機器を採用することで、一次エネルギーを削減します。
- 空調の系統において、使用用途、利用時間帯を考慮し、個別運転、グループ運転のエリア分けを行います。
- 空調用の集中リモコンにより、空調機の一括管理、消し忘れ防止、タイマー管理等を行います。
- アリーナの照明は調光制御を行い、使用状況に応じた適正照度を確保します。また、点滅の細分化や人感センサーを採用し、省エネルギー化を図ります。



■木材利用の促進

- 健康ストリート(ホワイエ)には宮崎県産木材を採用し、親しみやすく温かみのある内装計画とします。
- 地元建設会社の協力のもと、宮崎県産木材の調達ルートを確認します。

⑤DXの推進

スポーツ用AIカメラにより地域施設をスマートスタジアムに

スポーツ用AIカメラ「STADIUM TUBE」を施設に導入することで、地域スポーツの映像化という切り口から人々が健康でつながる地域づくりをサポートします。誰もがスポーツの「する、みる、支える」に参加できる新しい地域コミュニティを実現します。

▼サービス内容

競技場にAIカメラを設置するだけで、
スポーツ映像の撮影・編集・配信の自動化を実現します。



STADIUM TUBE
スポーツのあたらしいミカタ

①AIカメラ撮影・編集



②自動配信



豊富なオプション



▼まちづくりへの展開

自治体

- 大会の誘致
- 国体などのイベントPRの場の増加
- スポーツ以外の観光などの情報発信も可能
- 市への来訪やネットアクセスの増加
- 競技を跨いだスポーツ観戦者の増加
- 映像を宣伝などに利用可能

選手 (する)

- 試合練習をリアルタイムで振り返り
- チーム内での分析・指導に活用
- 試合映像を用いた遠隔地からのコーチング
- 自治体での大会の開催 (参加or観戦)
- 他県などの選手、チームとの交流

地元企業/協会 (支える)

- 大会PR、スポーツ振興の強化
- 広告の発信
- 協賛企業などの新たな支援の方法
- 新たなPRの場の増加
- 地域のスポーツチームとの接点創出

市民 (みる)

- 遠隔地や忙しい人も観戦可能
- 地元のスポーツに触れる機会の増加
- 他競技に触れる機会の増加
- 知人、友人の試合観戦
- スポーツ観戦を通じた新コミュニティ形成

地域活性化

観光

食事

地域交流

健康

■スポーツ用AIカメラSTADIUM TUBEの特徴

- 試合映像は、施設に設置した「AIカメラ」により撮影予約をすると「無人で自動撮影」され、「自動で配信ページに配信」される仕組み。
- 配信映像はパソコンやスマートフォン、タブレットで視聴でき、「いつでも、どこでも」自分の家族や知人が出場するスポーツ大会の試合を観戦できる環境を整え、スポーツへの関心を高めることが可能。
- 配信ページでは、試合映像配信だけでなく、地元企業の協賛広告や自治体情報発信なども拡張可能



実際の試合映像イメージ

【メーカー条件】 要求水準を満たす運用には、引渡後から最低3年間以上のランニング費用が別途必要です。

ファミリーサポートセンターでの子育て支援

子ども預かり機能や遊び場において、AIカメラとプライベートLTE環境を整備。預かり保育の様子を映像と位置情報で確認する事ができます。子育て世代が安心して拠点施設でのスポーツ参加、各種講習会参加が出来るよう、健康増進の為に活動を支援します。又、子供たちのプライバシー保護を目的としたシステムです。







屋外⇄ファミリーサポートセンタ 向き取り防止



子ども達のプライバシー保護・警備ロボット映像セキュリティを重視した次世代SXGP無線NW

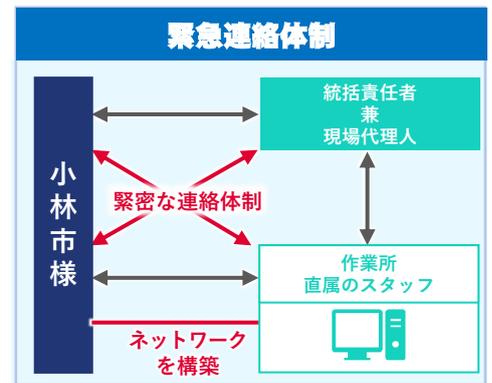
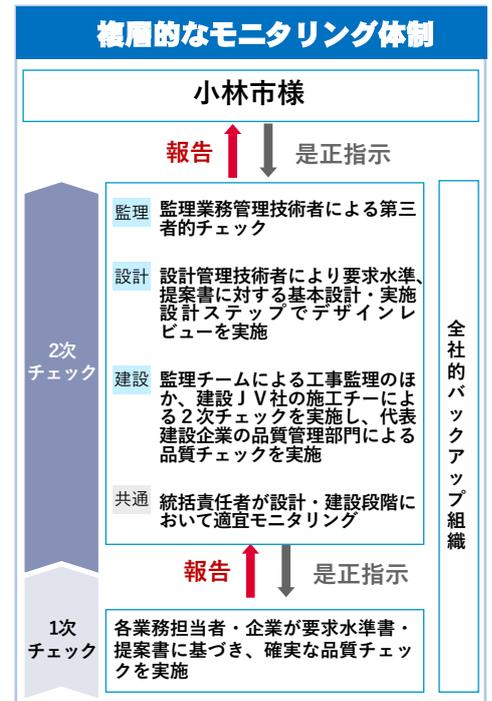
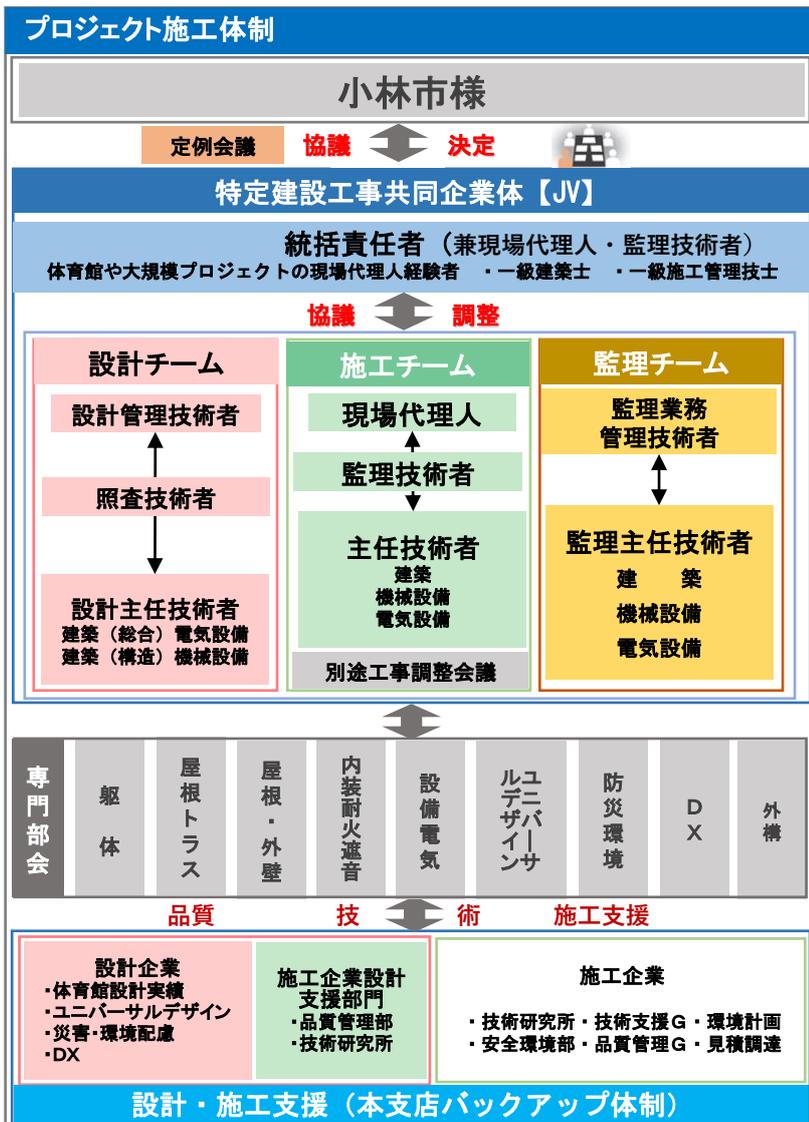
子ども見守りに加え、次世代SXGP無線システムは、自律走行型の警備ロボットの映像収集NWとしても応用可能。

【メーカー条件】 要求水準を満たす運用には、引渡後から別途ランニング費用が必要です。

①施工計画 工程計画

設計・施工・監理・全社バックアップが一体となった体制を確立します

◆プロジェクトを円滑に進める取り組み体制



◆クリティカルパスと明確なマイルストーン設定と物決め工程表により、発注者と情報共有で確実な工程管理の実施

- 設計/申請～資材発注～各工事の関連とクリティカルパスを明記した管理工程表(事業計画の提案を参照)を作成し会議体や打合せを通じ発注者を含めた関係者全員で情報を共有・合意することで**資機材発注～納期の管理**を確実にします。

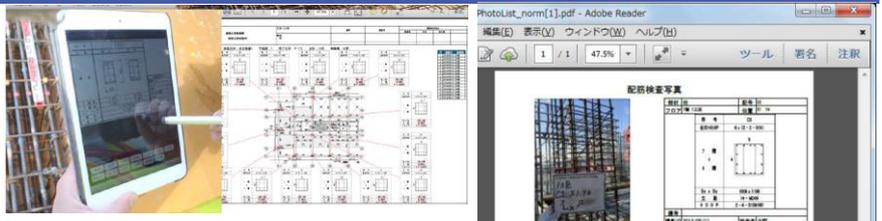
- 全体工程をもとに施工図・製作物や内装装デザインの**物決め工程**を作成し、製作図～チェック～修正～承認までの日程情報を関係者全員で把握し、遅延の場合は、責任の所掌や原因を明確にして対策を講ずることで、クリティカル工程を厳守して建物を完成させます。

項目	7月	8月	9月	10月
総 1階総合図 倉庫	打合せ着手	構造体・区画FIX	天井・躯体貫通	倉庫
合 2階総合図 倉庫	総合図打合せ着手	構造体・区画FIX	天井・躯体貫通	倉庫
図 3階総合図 倉庫	総合図打合せ着手	構造体・区画FIX	天井・躯体貫通	倉庫
外壁総合図	総合図打合せ着手	構造体・区画FIX	天井・躯体貫通	倉庫
外構総合図	総合図打合せ着手	構造体・区画FIX	天井・躯体貫通	倉庫
件 1階コア仕上・色彩	作業の仕上がり			

施工図・物決め工程表(例) ■総合図打合着手 図面提出 ●構造・区画FIX ■施工着手

◆DXを活用した品質管理

- タブレットを使った配筋検査システムを活用することで、検査済み、撮影済みなどの管理を確実に履行し、検査漏れによる不具合を未然に防止することで確実な品質管理を実施します。



② 周辺配慮

市民・公園利用者の公園周辺環境と安全を最優先した施工を実施します。

◆市民、公園利用者及び、周辺近隣の皆様の環境配慮・道路の安全等に配慮した施工計画

1. 市民の皆様、公園利用者への配慮

- 市民の皆様や公園利用者が利用する駐車場は**工事期間中2段階のSTEP**に分け、既存駐車場から新設駐車場へ順次切り替えることで台数に制限はありませんが、常に駐車場をご利用いただける計画を提案いたします。公園管理事務所様と協議し、安全な計画で工事を進めることで安心して公園をご利用いただけます。(工事STEP図)
- 工事現場内の見学会を開催し、市民の皆様への工事への関心とご理解を深める活動を実施します。(図7)

2. 大型車両入場時間、通行経路における交通安全対策

- 残土運搬ダンプ、生コン車、大型トラック、クレーン等の大型車両の搬出入は公園管理者と協議・指導の元、公園利用の多い時間帯や曜日などを考慮し、**適宜誘導員**を配置して講演利用者や第三者との交通災害防止に努めます。工事エリア内は**工事車両速度20km**を遵守します。(図1)

3. 工사용ゲートにおける交通安全対策

- 工事ゲートは計画図に示す位置に設置します。現在ある駐車場への通路を工事にも使用いたしますが、テニスコートや駐車場利用者の方々との交通災害防止のため、**誘導員を常駐配備**し、公園利用者最優先の誘導を実施することで交通災害防止を図ります。(工事STEP図)
- ゲートの両脇は**透明な仮囲い**を設置し、公園利用者および、車両の視認性を向上させ、誘導員による適正な誘導のもと、出会いがらの交通災害を防止します。入退場時には、警告灯を回転させて、歩行者や車両へ注意喚起します。(図1、工事STEP図)

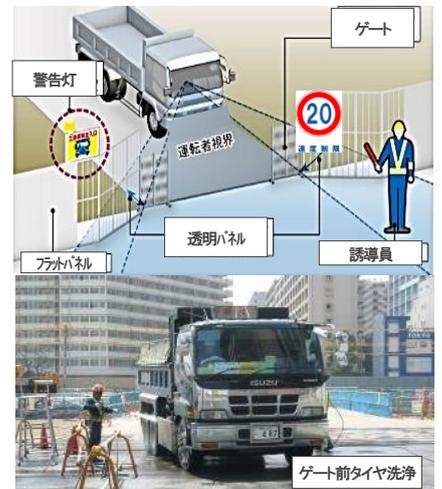


図1 工사용ゲート廻り仮囲いイメージ

4. 周辺環境対策

- ゲート内側に**タイヤ洗浄場所**を設置し、工사용車両は必ず洗浄し、道路の汚れを防止します。またゲート前には**パトランプ(警告灯)**設置します。(図1)
- 工事ヤード内には**排水処理プラント**を設置し、場内排水を必ず中和処理して放流することで、周辺及び、水路、河川等の汚染を防止します。(図2)
- 道路から公園駐車場までの仮囲いに**LED保安灯**を設置し、夜間の周囲環境の安全確保と防犯効果を向上させます。(図3)
- 仮囲いに**騒音振動計**を設置し、騒音振動規制に関する法令順守で作業を行います。(図4)
- 仮囲いに公園利用者や近隣の皆様に作業予定を掲示する**デジタルサイネージ**を設置します。工事の状況を皆様で共有できるようにいたします。(図5)
- JV職員と専門工事会社の作業員で、毎月、**一斉清掃や公園内パトロール**を行い、周辺や公園内の環境保全と美化向上に貢献します。(図6)

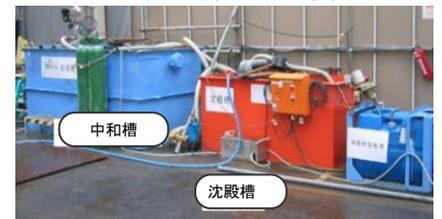
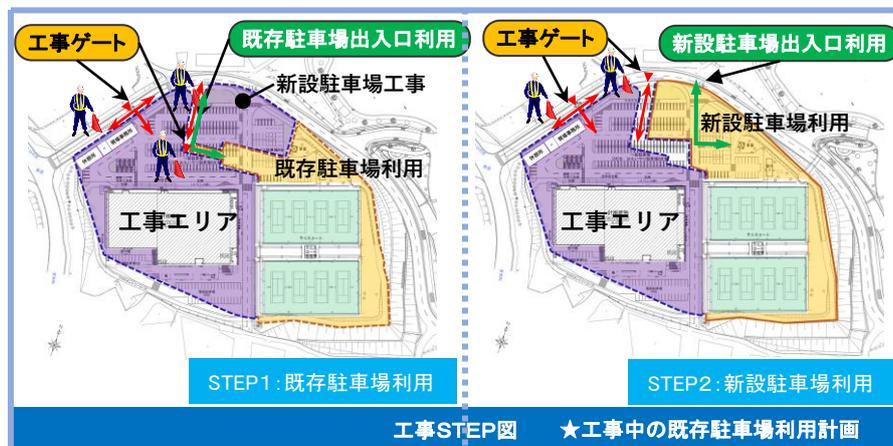


図2 排水処理プラント



図3 仮囲いLED保安灯設置イメージ



工事STEP図 ★工事中の既存駐車場利用計画



図4 仮囲い騒音振動計設置



図7 現場見学会活動



図6 仮囲い周辺環境美化活動



図5 仮囲い作業予定デジタルサイネージ設置

①地域経済の活性化

小林市内の企業に対し優先的に発注・調達を実施する。

工事に関する施工、業務、物品、職員・作業員の滞在中の生活用品等の調達、現業員採用については、小林市内の企業から優先的に調達します。

地域発注予定金額：¥1,149,000,000.-（税抜き）

電気工事	4.2億円	機械設備工事	5.4億円	生コン	1.2億円	合計金額
左官工事	0.39億円	塗装工事	0.2億円	市内調達経費	0.1億円	11.49億円

地元企業の活用

- ・市内企業とJVを組成したことにより、建設工事の請負金額50%を市内建設会社2社、設計・工事監理の契約金額の20%を市内設計事務所1社が受託します。
- ・下記表1「市内業者工種別一覧表」の業者は、建設工事のJV構成員が通常取引実績のある業者であり、本工事においても優先的に調達を実施します。
これ以外の経費関連費用についても、積極的に市内業者にて調達します。

表-1 市内業者工種別一覧表（69企業、27業種）

No.	工種	会社数	No.	工種	会社数	No.	工種	会社数
1	仮設工事	6	10	木	2	19	植栽	3
2	地業	1	11	屋根	1	20	仕上げユニット	2
3	生コン	3	12	左官	3	21	その他	1
4	CT製品	3	13	木建具	3	22	屋外付帯	2
5	土工事	2	14	金属建具	2	23	解体・産廃	1
6	鉄筋	2	15	硝子	2	24	電気	6
7	型枠	2	16	塗装	2	25	給排水	7
8	鉄骨	3	17	内外装	3	26	空調	3
9	組積	2	18	舗装	1	27	警備員	1

地元雇用への配慮

- ・事務員等の求人募集や交通誘導員の手配の際は、市内居住者を優先的に採用します。

地域資材の使用

- ・使用する木材は、小林地域産材、宮崎県産材を優先的に使用します。



イメージ図